



学校便り きらきら天妃っ子



那覇市立天妃小学校

7月号

令和6年 7月1日
校長 平良 その子

先月の日曜参観日には、休日の貴重なお時間をいただき、大変ありがとうございました。
授業参観、全体講話（学校経営、学力向上、学校保健等）、引き渡し訓練まで、ご参加いただき感謝申し上げます。おやじの会の皆様による朝の温かい挨拶運動も、ありがとうございました。

当日は、342名（85%）の参加があり、子供達も、保護者の皆様を前にして、いつも以上に張り切っていました。今後も、参観日等にはお子様の様子をご覧頂き、頑張りを褒め、励ましのお声かけ等をよろしくお願いいたします。

さて、戦後79年目を迎え、学校では、「平和旬間」として様々な取組を行いました。いろいろな視点からの取組を通して、子供達は、沖縄戦や対馬丸事件のこと、命の尊さなど、たくさんのことを学ぶことができましたようです。

平和旬間

6月1日～6月22日まで、「平和旬間」として、沖縄戦についての調べ学習、図書室での戦争パネル写真展、平和集会等の取組を行いました。

歌手HY「♪時をこえ」の歌詞で
命の尊さを伝える



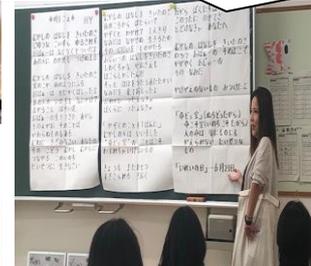
沖縄戦パネル展、図書の紹介



平和学習の感想「平和の木」



音楽朝会「♪HEIWAの鐘」



保護者：金城奈々恵さん



平和集会(1、2年)



平和集会(3～6年生)



平和集会では、対馬丸記念館副理事長の渡口眞常様、沖縄県子供の本研究会の平良京子様、山内淳子様を講師にお招きして読み聞かせや沖縄戦、対馬丸事件についてお話を聞きました。

〈代表児童の感想〉

4年 窪田 尋

渡口さんのお話を聞いて、戦争と平和では、こんなにまで違いがあることがわかりました。

世界では、ウクライナとロシアが戦争しているけど、今日の話聞いて、日本が戦争をしないためにはどうしたらよいかを考えました。それは、人に優しくしたり、思いやったりすることが大切だと思います。これからも、今日のことを忘れずに一日一日を大切にしていきます。

6年 上原 宇美香

「平和と戦争」平和は、いろんなものがあって、お父さんがいて、お母さんがいて、笑顔で勉強ができて、海に魚がいて、平和の夜は明るくて、静かに眠れる。

戦争は、いろんな物がなくて、お父さんがいなくて、家族バラバラで、勉強ができない。海に魚がいない。戦争の夜は暗くて怖くてさみしくて、死体がいろんなところに転がっていて怖かったと思います。夜10時過ぎくらいに海に投げ出されて辛かったと思います。不安だったと思います。

私は、「命のリレー」という歌を聞いて、命をつなげていくというのが心に残りました。

戦争を起こしたらだめな理由がわかりました。

裏面もご覧ください

